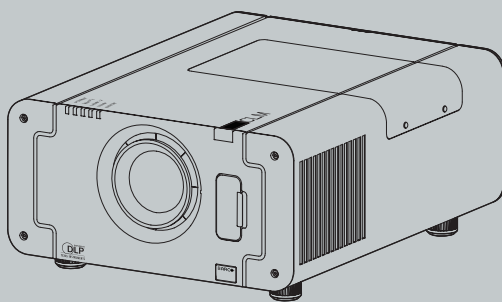


CLM HD6



ユーザーガイド

BARCO

Visibly yours

Barco nv Events

Noordlaan 5, B-8520 Kuurne

電話: +32 56.36.89.70

ファックス: +32 56.36.88.24

電子メール: sales.events@barco.com

ホームページ: www.barco.com

1. 安全にお使いいただくために.....	4
1.1 一般注意事項.....	4
1.2 重要な注意事項.....	5
1.3 リサイクルに関するガイドライン.....	12
2. はじめに.....	13
2.1 仕様.....	13
2.2 プロジェクターパッケージの概要.....	15
2.3 製品の各部名称.....	16
2.3.1 本体.....	16
2.3.2 コントロールパネル.....	17
2.3.3 入/出力(I/O)パネル.....	19
2.3.4 リモコン.....	20
3. 本体の設置.....	22
3.1 プロジェクタの接続.....	22
3.1.1 コンピュータまたはノートパソコンとの接続.....	22
3.1.2 ビデオソースとの接続.....	23
3.2 プロジェクターの電源オン/オフ.....	24
3.2.1 プロジェクターの電源を入れる.....	24
3.2.2 プロジェクターの電源を切る.....	25
3.3 投写された映像の調整.....	26
3.3.1 プロジェクタの位置の調整.....	26
4. ユーザーコントロール.....	28
4.1 オンスクリーン・ディスプレイメニュー.....	28
4.1.1 OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) メニューの使用.....	28
4.1.2 インプットメニュー.....	29
4.1.3 画像メニュー.....	31
4.1.4 レイアウトメニュー.....	35
4.1.5 ランプメニュー.....	37
4.1.6 整列メニュー.....	39
4.1.7 コントロールメニュー.....	41
4.1.8 サービスメニュー.....	44
5. 付録.....	46
5.1 故障かなと思ったら.....	46
5.1.1 画像の問題.....	46
5.2 LEDインジケータ表.....	49
5.3 警告メッセージ.....	50
5.4 ランプの交換.....	51
5.5 レンズの交換.....	52
5.6 互換モード.....	53
5.7 天井への取り付け.....	54
5.8 欧州連合諸国の場合の準拠声明.....	56

1. 安全にお使いいただくために

1.1 一般注意事項

Notice on safety

この機器は、安全規格 IEC60950-1、EN60950-1、UL60950-1、およびCAN/CSA C22.2 No.60950-1に基づいて製造されています。これらの安全規格は、電子事務機器を含む情報処理機器に関する規格です。これらの規格は、ユーザーや作業者が感電やエネルギーハザード、可動部への接触によって危険な目に遭わないよう保護するために、安全上重要な部品や材料の取付を義務付けるものです。安全規格はさらに、装置内部・外部の温度上昇、放射能レベル、機械的安全性と強度、梱体の構造、火災防止対策等についても制限値を設定しています。機器が機能不全に陥ったときでも安全性を確保するため、単一故障シミュレーション試験が実施されています。

設置に関する注意事項

- 本機の操作を開始する前にこの取扱説明書の内容をよくお読みになり、いつでも参照できるように保管しておいてください。
- 設置や事前調整は、パルコ社が認定した有資格者またはパルコ社が承認したサービス代理店にご依頼ください。
- プロジェクターの本体上、および説明書内に記載されるすべての警告を必ずお守りください。
- 本機の操作および取扱いに関するすべての指示を必ずお守りください。



「公認のサービス技術士」または「公認の技術士」の定義について 適切な技術トレーニングを習得し、各種作業の実行に伴うあらゆる危険について熟知するに足る経験を有し、作業員およびその他の人々に及ぶ危険を最小限に留める手段について知識を有する人を指します。

所有者情報

製品番号およびシリアル番号はプロジェクターの右側に表示されています。これらの番号を以下の空欄に書き留めておいてください。製品について販売店にお問い合わせいただくときは、これらの情報をお使いください。

製品番号	
シリアル番号	
販売店	

1.2 重要な注意事項

感電を防止するために

- 警告: この機器は、付属の3芯構造のACケーブルを使って接地する必要があります。付属の電源ケーブルに正しいものが含まれていない場合は、販売店にお尋ねください。電源プラグをコンセントに差し込むことができない場合は、新しいコンセントの形に取り替えてもらえるように電気技師にご連絡ください。接地式プラグを、接地なしで利用するのはお止めください。電源ケーブルは、次のルールに従って配色されています。

国際規格のプラグ:

緑/黄色: 接地

青: ニュートラル

茶色: 電源(live)

北米規格のプラグ:

緑/黄色または緑: 接地

青または白: ニュートラル

茶色または黒: 電源(live)

- 電源コードの上に物を置かないようにご注意ください。人が歩くときに電源コードに足が引っかかることのないように、本体の設置場所を配慮してください。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグを手にとって引き抜いてください。コードそのものを引っ張らないようにしてください。
- この機器を設置するために延長コードを利用するときは、延長コードに差し込まれる他の機械の使用電力との合計が、延長コードの規格を超えないように十分にご注意ください。
- 電源コードは、必ず付属のものをご使用ください。その他の電源コードは見た目が似ている場合でも、一緒に使用するための安全性試験を当社にて実施したものではないため、この機器と一緒にお使いいただくのはご遠慮ください。電源コードを交換したいときは、販売店にお尋ねください。
- キャビネットの穴から本体内部に異物を入れないでください。危険な電圧部分に触れたり、部品のショートを引き起こす可能性があり、火災や感電のおそれがあります。
- 本体に液体等をこぼさないようにしてください。キャビネット内部に液体等が入ったときは、電源コードを抜いて、公認のサービススタッフの点検を受けて安全性を確かめてからお使い下さい。
- 雷発生時 - 雷雨等の際は追加的な保護措置として、また保管時や長期間使用しない場合の保護対策として電源コードはコンセントから抜いておいてください。雷の発生や電力のサージによる本体の故障を防止することができます。

1. 安全にお使いいただくために

怪我等の危険性を防止するために

- 注意: 高圧ランプは、適切に取り扱わないと割れるおそれがあります。アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。ランプケースの分解や処理は独自に行うのではなく、バルコ社にご依頼ください。
- 怪我や物理的な損害を避けるため、ランプケースの取り付けや電源コードの接続、また、プロジェクターの調節時は必ずこの取扱説明書や本体に記載された警告ラベルをよく読んでから実施してください。
- 怪我を防止するため、プロジェクター本体の重量について十分に配慮してください。プロジェクターの持ち運びには少なくとも2名が必要です。
- 怪我を防止するため、レンズやその他のすべてのカバー プレートが適切に取り付けられていることを確認してください。設置手順を参照してください。
- 警告: 高出力光線。レンズを覗き込まないでください。高輝度により失明するおそれがあります。
- 本機のあらゆるカバーを取り外す前に、本体の電源を切って電源コードをコンセントから外してください。
- 本機の天井据付作業を行うときは、本体や物体の落下による怪我を防止するため、立ち入り禁止区域を設定してください。
- プロジェクターを吊り下げを目的として設計されていない構造面にプロジェクターを設置するときは、必ず構造建築工学技術者にご相談ください。設置する部分の作業負荷限界がプロジェクターの負荷を上回っていることを必ず確認してください。
- 2台以上のCLMプロジェクターを重ねて吊り下げる、または3台以上のプロジェクターを積み重ねて卓上設置するのはお止めください。
- プロジェクター本体の側面の電源入力部分は遮断装置となっています。本機内部のパーツを確認するために電源を切るときは、常に本機側面の電源コード接続を切断します。本機側面の電源コード接続口が手に届かない位置にある場合(天井据付の場合など)は、本機の電源となるコンセント部分がいつでも手に届く範囲にあるように配慮するか、またはアクセスしやすい電源遮断装置を固定配線上に取り付けるようにしてください。
- 本体を不安定な荷台、スタンド、テーブルなどに置かないでください。落下により本体が破損したり、近くの人が怪我をするおそれがあります。
- 本体を天井やリギングシステムに取り付ける場合、必ずセキュリティチェーンと一緒に取り付けてください。

- **警告：紫外線放射による被曝を防止するために：**光線を直接見ないようにしてください。この機器に取り付けられたランプは、ハイレベルの光と熱を放射します。ランプから放出される光には、紫外線が含まれています。ランプが紫外線を放出しているときは、目や皮膚を傷める潜在的な危険性が存在します。不必要に被曝しないように、十分にご注意ください。使用者自身とその従業員がこれらの危険について理解し、どのようにして自分自身を守ればよいかを周知徹底させてください。皮膚への被曝は、編み目の細かい衣類や手袋の着用によって防止することができます。目への被曝は、紫外線保護機能を備えた安全眼鏡の着用によって防止することができます。紫外線だけでなく、ランプからは非常に強い可視光が放出されています。目の保護具を選択するときはこの点についても配慮してください。
- **紫外線への被曝について：**一部の医薬品によっては、紫外線に対する人間の抵抗力を弱める働きをするものがあります。米国産業衛生専門家会議(ACGIH)では、1日8時間の労働に対する職業的な紫外線被曝限界を1平方センチの有効紫外線に対して0.1マイクロワット以下と定めています。累積的な紫外線レベルがこのような政府のガイドラインを超えることを防止するため、作業場の紫外線評価を実施されることをお勧めします。
- **水銀蒸気に対する警告：**プロジェクターをお使いになるときは、以下の警告について留意してください。本機内部で使用されているランプには水銀が含まれます。ランプが破裂した場合、水銀の蒸気が放出されます。水銀の蒸気による中毒を最低限に抑止するため、以下の点にご注意ください。
 - 本機は必ず、通気性のよい場所に設置します。
 - ランプの使用寿命が終わる前にランプを交換します。
 - ランプが破裂したときは適切な換気を確保し、本機を置いた部屋から脱出します(特に妊娠している女性)。
 - ランプが破裂した後に、頭痛、倦怠感、息苦しい、胸が締めつけられるような咳が出る、吐き気がするなど身体の不調がみられるときは、医師に相談します。

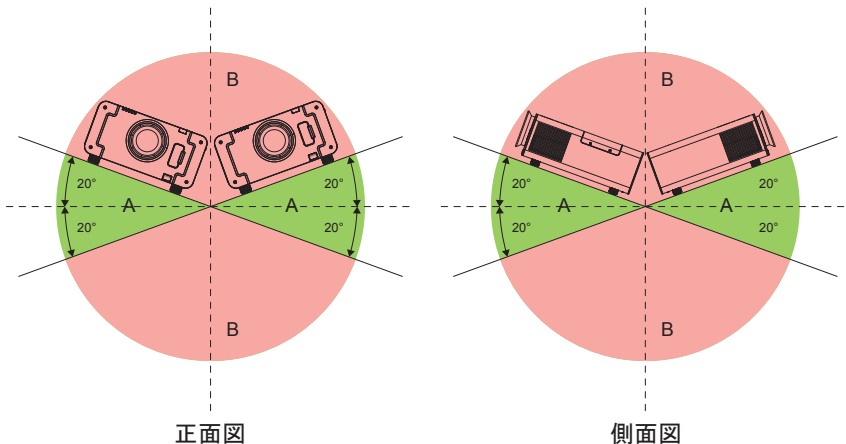
1. 安全にお使いいただくために

プロジェクターの故障を防止するために

- 空気フィルターを定期的に交換しない場合、本体内部の空気流が妨げられ過熱を引き起こすおそれがあります。過熱は、プロジェクターの動作中にシャットダウンを引き起こします。(このプロジェクターの空気フィルターは、オプションです)
- 正しい空気流を確保するため、またこの機器の電磁環境両立性を適切なレベルに維持するため、また安全基準を満たすため、常にカバーがすべて適切に取り付けられた状態で使用します。
- キャビネットにある開口部は換気用です。本体の正常な動作と過熱を防止するため、これらの開口部を塞いだりしないでください。また、ベッドやソファ、絨毯、またはこれに似たような場所に本体を配置すると開口部が塞がれてしまいますのでお止めください。暖房器具やヒートレジスタなどの近くやその上に本体を置かないでください。本機は、適切な換気を確保できる場合を除き、作りつけの棚や収納部に設置しないでください。
- 本機の冷却ファンや本体底部やまわりの空気流を妨げないようにしてください。本体のまわり 40cm (16") 以内に、綴じられていない書類等を置かないでください。
- 本機は常に、開口部に十分な空気が入り、冷却システムからの熱い排気が妨げられないような状態で取り付けられるように配慮してください。排気された熱気が通過する地点に、熱に弱い物質を置かないようにご注意ください。本機の後方や約1メートル (40") の安全距離を置いてください。
- 本機内部には何も侵入したり落ちたりしないように配慮してください。万一、内部に液体や異物が侵入したときは、電源供給を直ちに切断してください。公認のサービス技術士による点検を行うまで、本体を操作しないでください。
- プロジェクターを吊り下げを目的として設置されていない構造面にプロジェクターを設置するときは、必ず構造建築工学技術者にご相談ください。設置する部分の作業負荷限界がプロジェクターの負荷を上回っていることを必ず確認してください。
- この機器を、水気のあるところで使用しないでください。
- **レーザー光線に対する特別な注意:** 高出力レーザー装置を配置している部屋で DLP プロジェクターを使用する場合、特別な注意が必要です。レーザー光線が直接または間接的にレンズに当たると本体のデジタルミラーデバイス (Digital Mirror Devices™) に深刻なダメージが起きる可能性があるため、このような場合、この製品の保証は失われます。
- この機器を将来搬送する可能性があるときは、元のダンボールや包装資材を保管しておくようにしてください。製品は工場出荷時と同じ方法で再包装するのが最も丈夫です。

1. 安全にお使いいただくために

- お手入れの際は、コンセントから本体の接続を外してください。液体洗剤やスプレータイプの洗剤を使用しないでください。お手入れには固く絞った雑巾をお使いください。シンナーやベンジン、研磨剤の入った洗剤などは使用しないでください。キャビネットが傷つくおそれがあります。頑固な汚れは、中性洗剤を少し付けた雑巾でふき取ってください。
- 最高の光学性能と解像度を実現するため、保護レンズには抗反射コーティング処理が施されています。レンズには触れないようにしてください。レンズに付着したホコリを取り除くときは、柔らかい乾いた布をお使いください。濡れた雑巾、洗剤、シンナーなどは使わないでください。
- ランプがすべて取り付けられていないときは、本機を使用しないでください。
- 水平とプロジェクタの垂直方向の傾斜範囲: プロジェクターはテーブルの上に配置さや天井にインストールされ、傾斜が許可されるが、傾斜は $+/- 20^{\circ}$ を超えることはできません。この制限は、プロジェクタのランプとセキュリティの動作を保証することです。
 - A: 傾斜を許可する
 - B: 傾斜を許可しない



1. 安全にお使いいただくために

電池の破裂を防止するために

- 電池を正しく挿入しなかった場合、電池が破裂するおそれがあります。
- 電池は必ずメーカーが推奨するタイプのものまたはこれと同等のタイプのものと交換してください。
- 使用済みの電池はメーカーの支持に従って処分してください。

火災の危険を防止するために

- 「火災の危険」の警告。本機の近くに燃えやすいもの、発火しやすいものを置かないでください。通常の運転時に本機の表面や排気口が熱くなりますが、これは正常で安全な状態です。しかし、本体の近くに発火性、可燃性のあるものを置くとこれらに引火して火災を引き起こすおそれがあります。このため、本機のまわりには、発火性、可燃性のものが全く無い「安全な区域」を用意します。バルコDLPプロジェクターについては、安全な区域を少なくとも本体から40cm (16")以上で設定します。レンズ側の安全区域は少なくとも2メートル(80")を確保してください。
- 本機の運転中は、本体、レンズ等を別の素材で覆ったりしないでください。
- 本機のランプが熱くなりすぎているときは、まずプロジェクターをスタンバイモードにして約5分かけてランプの温度が冷めるのを待ちます。その後、電源スイッチを使って本機のスイッチを切ります。
- 本機の据付は、通気性が良く、直射日光の当たらない場所にします。
- 本機は、雨に濡れたり湿度の高い場所で使用しないでください。
- 火災が発生した場合、砂、二酸化炭素、または粉末消火剤を使って消火します。電子部品の火災には水を使用してはいけません。
- 暖房器具やヒートレジスタなどの近くやその上に本体を置かないでください。
- 本機は、適切な換気を確保できる場合を除き、作りつけの棚や収納部に設置しないでください。
- 本機を使用する室内は、本体の発生する熱による温度上昇を避けるため、適切な換気を行うかクーラーなどを利用して温度を調節します。

サービスを行う場合

- 本機は自分で修理等しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧によって感電するおそれがあります。
- アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。
- 本機のまわりに少なくとも3メートルの立入禁止区域を設置し、フェンスに「立入禁止」の標示を目立つように配置します。これは、サービス中に許可無く人が近くに来ないように確保するための安全措置です。
- 以下の状況のときは、本機の電源をコンセントから外し、公認のサービス技術者にサービスをご依頼ください。
 - 電源コードまたはプラグが破損またはすり減っている。
 - 本体内に液体が侵入した。
 - 本機が雨や水に濡れてしまった。
 - 適切に使用しているにも拘らず、本体が正しく動作しない。各種制御機能の使用は、取扱説明書に於いて取り上げられている範囲内に留めておいてください。不適切な調整は、本体の故障につながるおそれがあり、製品を元の正常な状態に戻すのに公認の技術者による複雑な作業が伴う場合があります。
 - 本機を落とした、またはキャビネットが壊れた。
 - 製品の動作が通常と著しく異なる場合は、サービスが必要であることを示しています。
- 部品の交換：部品を交換する場合、サービス技術者がバルコ社の提供する適切な部品またはバルコ社の純正部品と同等の性能を持つと認められた交換部品を使用していることを確認してください。不適切な部品交換は、性能や信頼性を劣化させ、火災、感電、その他の危険を伴う可能性があります。不適切な部品交換を行うと、当社の保証を受けられなくなる場合があります。
- 安全性チェック：本機のサービスや修理の完了時は、サービス技術者に安全性チェックの実施を依頼して、製品が適切に稼動することを確認してもらってください。

1. 安全にお使いいただくために

1.3 リサイクルに関するガイドライン



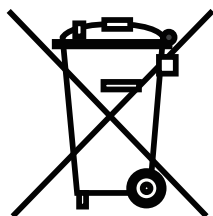
警告: ランプは絶対に割ったり壊したりしないでください。水銀の蒸気放出によって身体および環境に悪影響を及ぼすおそれがあります。



注意: ランプの破損を防止するため、保管や持ち運びの際は十分に注意して丁寧に扱ってください。



注意: ランプは通常のご家庭用ゴミと一緒に処分できない場合があります。
HIDランプのリサイクルプログラムについて、各地方自治体のゴミ処理施設にご相談ください。



水銀を含むランプを処分するためのいくつかの方法

- 各地域の条例に従い、廃棄物処理場でリサイクル処分をする。
- ランプリサイクル業者に直接持ち込む。
- 有害廃棄物処理業者に処理を依頼する。

2. はじめに

2.1 仕様

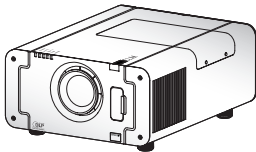
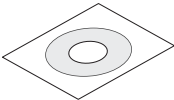
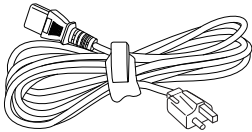
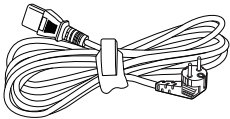
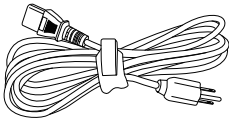
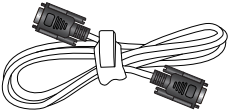
仕様	説明
輝度	6000 ANSIルーメン(+/- 10%)
解像度	1920 x 1080 ピクセル
マイクロディスプレイ	0.67" DLP x 1
コントラスト比	1:1600
輝度むら	95%
ランプ	2 x 330 W UHP
レンズ	- ズームレンズレンジ: - WT93 (1.27-1.52) - WT91 (1.52-2.03) - WT95 (2.03-3.85) - WT94 (3.85-7.32) - 固定レンズレンジ: WT96 (0.81)
入力	- 標準入力: - G/Y, B/Pb, R/Pr, H/C, V - Y, Pb/Cb, Pr/Cr - S-ビデオ - VGA 1 & VGA 2 - 標準デジタル入力: HDMI 1 & HDMI 2
入力ソースの互換性	最大入力解像度はWUXGA (1900 x 1200) まで
機能	- 高度ピクチャー・イン・ピクチャー - デジタルキーストーン補正 - ブリリアントカラー処理

2. はじめに

仕様	説明
通信	1x RS-232 IN/OUT (D-9 コネクタ)
ネットワーク接続	10/100 Base-T, RJ-45接続
ノイズレベル	42 dB(A) at 23 +/- 2° C
運転温度	5° C - 40° C
主電圧	100-240V (+/- 10%) / 50-60Hz
消費電力	690 W
安全規格	FCC-A, UL, c-UL, CE, CB, TUV GS, CCC, WEEE, EU RoHS および中国版RoHS
電磁干渉	FCC規則パート15クラスAおよびCE EN55022 クラスAに準拠
寸法	W x L x H: 436 x 550 x 236 mm

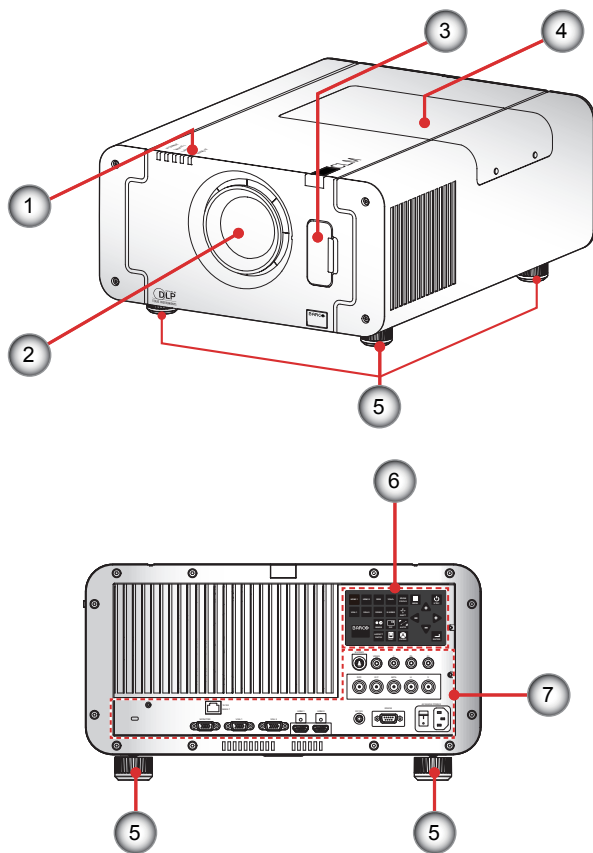
2.2 プロジェクターパッケージの概要

本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。パッケージの内容がすべて揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。

		
プロジェクター	リモコン	ユーザーガイド
		
電源コード x 3		
		
HDMI-DVIケーブル	RS232 ケーブル	

2.3 製品の各部名称

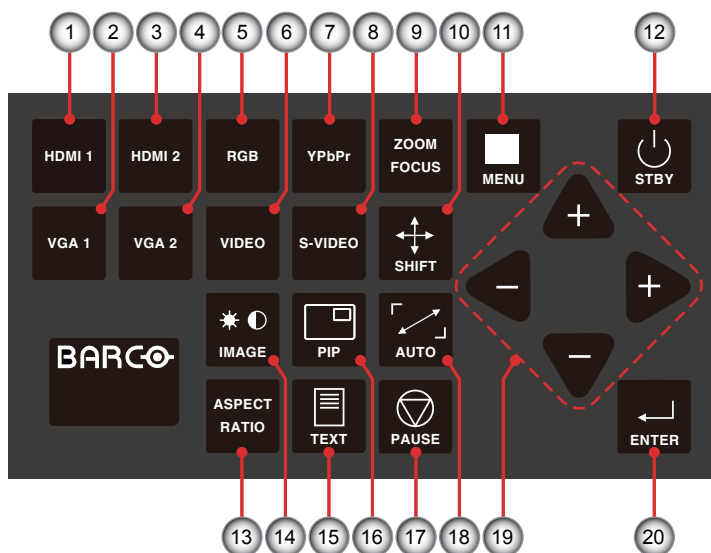
2.3.1 本体



- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 診断インジケータ LED | 5. チルト調整フット |
| 2. プロジェクションレンズ | 6. コントロールパネル |
| 3. レンズロックドア | 7. 入/出力(I/O)パネル |
| 4. ランプカバー | |

注: 投影レンズは省略可能な項目は、標準アクセサリではありません。

2.3.2 コントロールパネル



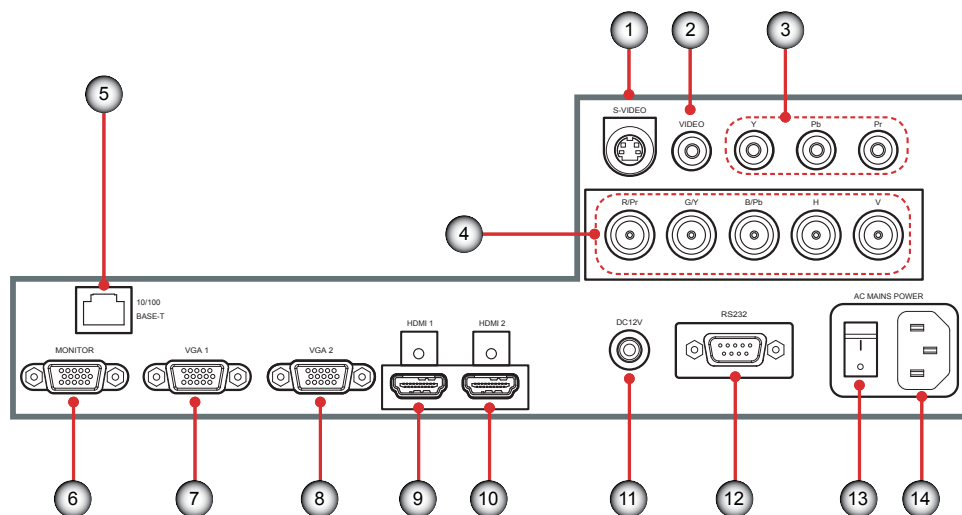
キーパッドでは、以下の機能をコントロールできます。

番号	名称	説明
1	HDMI 1	HDMI 1ソースを選択します
2	VGA 1	VGA 1ソースを選択します
3	HDMI 2	HDMI 2ソースを選択します
4	VGA 2	VGA 2ソースを選択します
5	RGB	BNCコネクタのRGBHVソースまたはYUVソースを選択します
6	ビデオ	VIDEOソースを選択します
7	YPbPr	YPbPrソースを選択します
8	S-VIDEO	S-VIDEOソースを選択します
9	ZOOM FOCUS	ズーム/フォーカスを調整します

2. はじめに

番号	名称	説明
10	SHIFT	レンズを上・下・左・右方向に調整します
11	MENU	メニューに入る、またはメニュー内で1つ上のレベルに移動します
12	STBY	電源を入れるまたはスタンバイモードに入ります
13	アスペクト比	アスペクト比を選択します
14	IMAGE	OSDからイメージメニューを選択します
15	TEXT	テキスト オン/オフ
16	PIP	OSDからPIPメニューを選択します
17	PAUSE	画像を静止します
18	AUTO	自動画像調整を行います
19	◀▶▲▼	ナビゲーションキー
20	ENTER	選択を確定する、またはメニュー表示がないときはレンズメニューを表示します

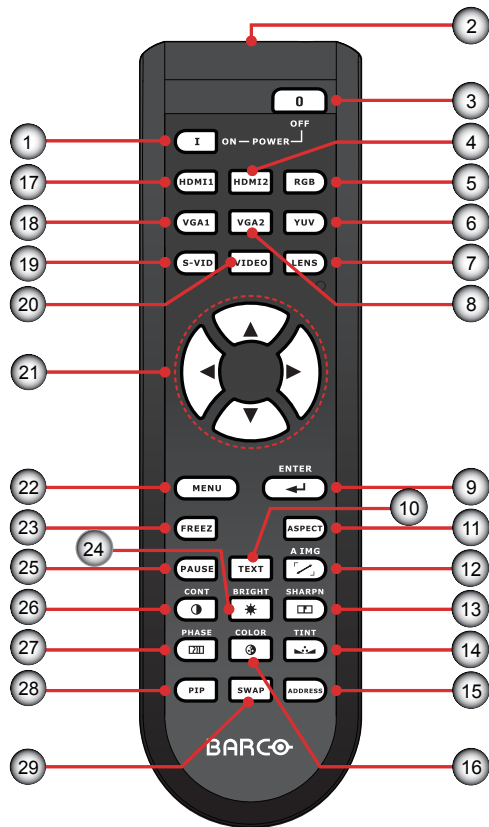
2.3.3 入/出力(I/O)パネル



1. S-VIDEO 入力端子
2. ビデオ入力端子
3. コンポーネントビデオ入力端子
4. BNC入力コネクタ (YPbPr/RGBHV)
5. ネットワーク端子 RJ45
6. モニタ端子 (VGAからのループ)
7. VGA1端子 (PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力)
8. VGA2端子 (PCアナログ信号/コンポーネントビデオ入力)
9. HDMI 1 端子
10. HDMI 2 端子
11. +12V/1A端子
12. RS232端子
13. パワースイッチ
14. パワーソケット(AC 入力: AC100-240V~, 50-60Hz、9.0A)

2. はじめに

2.3.4 リモコン



リモコンでは、以下の機能をコントロールできます。

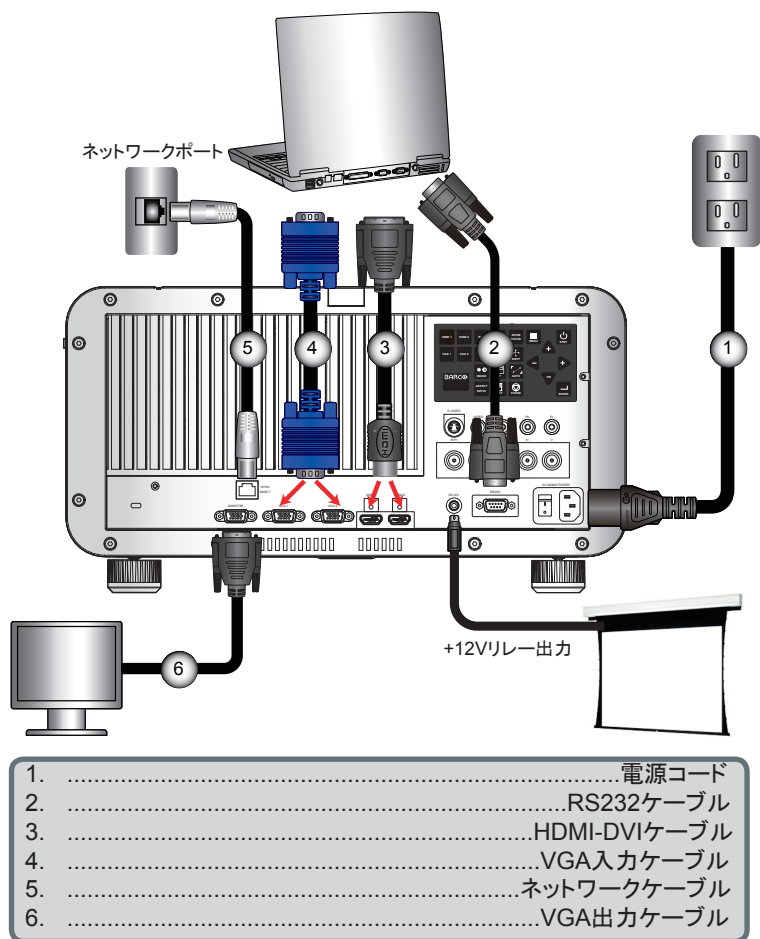
番号	名称	説明
1	I	電源オン
2		リモコン送信部
3	O	電源オフ
4	HDMI 2	HDMI 2ソースを選択します
5	RGB	BNCコネクタのRGBHVソースまたはYUVソースを選択します

番号	名称	説明
6	YUV	YPbPrソースを選択します
7	LENS	レンズを上・下・左・右方向に調整します
8	VGA 2	VGA 2ソースを選択します
9	ENTER	選択を確定する、またはメニュー表示がないときはレンズメニューを表示します
10	テキスト	テキスト オン/オフ
11	ASPECT	アスペクト比を選択します
12	A IMG	自動画像調整を行います
13	SHARPN	画像のシャープネスを調整します
14	TINT	赤と緑のカラーバランスを調整します
15	ADDRESS	リモートのIR アドレスを選択します
16	COLOR	ソースのカラーサチュレーションを調整します
17	HDMI 1	HDMI 1ソースを選択します
18	VGA 1	VGA 1ソースを選択します
19	S-VID	S-VIDEOソースを選択します
20	ビデオ	VIDEOソースを選択します
21	◀▶▲▼	ナビゲーションキー
22	MENU	メニューに入る、またはメニュー内で1つ上のレベルに移動します
23	FREEZ	画像を静止します
24	BRIGHT	画像の輝度を調整します
25	PAUSE	画像を静止します
26	CONT	画像のコントラストを調整します
27	PHASE	ピクセルサンプリングクロックの位相を調節します
28	PIP	ピクチャー・イン・ピクチャーをオン/オフにします
29	SWAP	メイン画面とPIP画面を切り替えます

3. 本体の設置

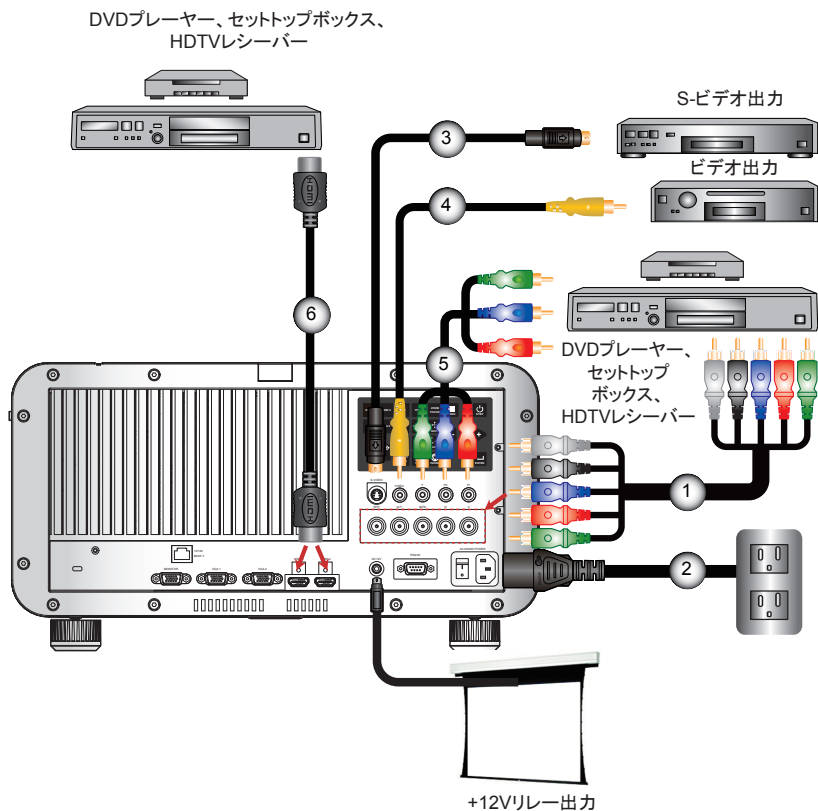
3.1 プロジェクタの接続

3.1.1 コンピュータまたはノートパソコンとの接続



注: 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

3.1.2 ビデオソースとの接続



- | | |
|----|---------------------|
| 1. |BNCケーブル |
| 2. |電源コード |
| 3. |S-VIDEOケーブル |
| 4. |コンポジットケーブル |
| 5. |RCAコンポーネントケーブル |
| 6. |HDMIケーブル |

注: 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

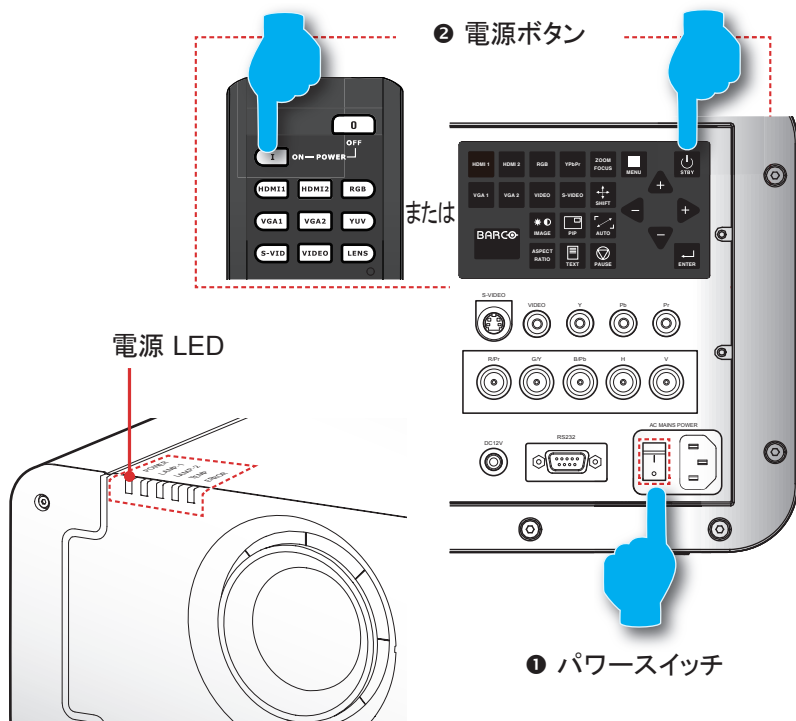
3.2 プロジェクターの電源オン/オフ

3.2.1 プロジェクターの電源を入れる

1. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。スイッチ①をオンにすると、Power LEDが青に点灯します。
2. リモコンの“I” ボタンまたはコントロールパネルの“” ボタンを押すとランプが点灯します。電源LEDは緑色で点滅します。②
約 10 秒で起動画面が表示されます。
3. 使用するソースの電源を入れます。リモコンのHDMI 1, HDMI 2, VGA 1, VGA 2, RGB, YUV, Video or S-Video)を押して入力ソースを選択します。

選択したソースをプロジェクターが検出して画像を表示します。

注: プロジェクターを最初に使用する時に、起動画面が表示されるとメインメニューから使用する言語を選択することができます。



3.2.2 プロジェクターの電源を切る

1. コントロールパネルの“” ボタンまたはリモコンの“O” ボタンを3秒間押し続けると、プロジェクターの電源が切れます。インタラクティブ・ホワイトボードにメッセージが表示されます。
2. メッセージが表示されても引き続き押し続けるとプロジェクターの電源が切れます。スイッチを切らない場合は、ボタンを押し続けるのを停止します。



注意: スタンバイモードに入った直後にプロジェクターの電源を入れないで下さい。

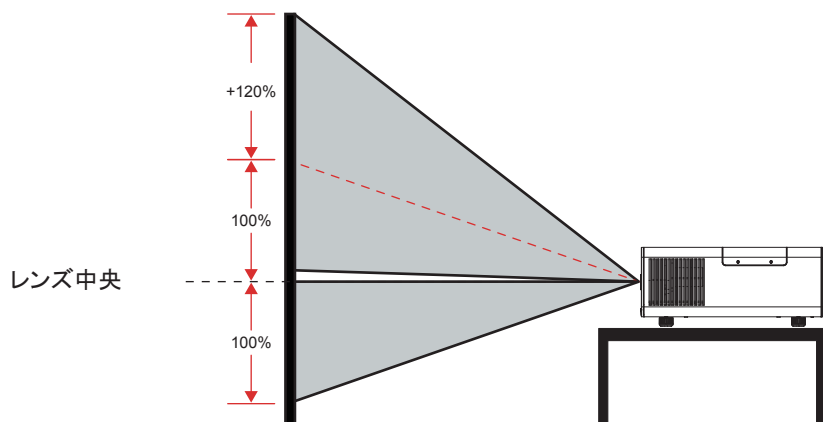
3.3 投写された映像の調整

3.3.1 プロジェクタの位置の調整

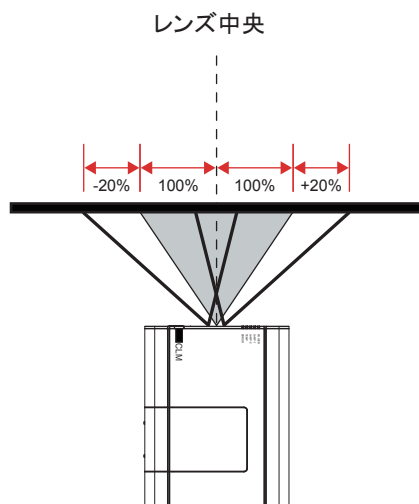
プロジェクターの位置は、スクリーンのサイズや形、電源コンセントの位置、およびプロジェクターとその他のデバイスとの距離に基づいて決定します。以下は、一般的なガイドラインです。

- プロジェクターは、画面に対して直角の角度の平たい表面に配置します。プロジェクター(標準レンズのものの場合)は、投写スクリーンから少なくとも0.9メートル(3フィート)離します。
- 電源差込口から3メートル(10フィート)の距離以内に、そして映像デバイスから1.8メートル(6フィート)の距離以内(但し、延長ケーブルを別途購入した場合は除く)に本体を配置します。配線に対して適切なアクセスを確保するため、プロジェクターは壁面または物体から15センチ(6インチ)以内に配置しないでください。
- プロジェクターをスクリーンに対して適切な位置に配置します。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、そしてビデオ形式が投写される画像のサイズを左右します。
- プロジェクターの垂直画像オフセット(シフト)範囲は画面高さの半分に対して0% から +120%、そして水平画像オフセットは画像横幅に対して +/- 20%です。120% オフセットでは、画像の半分の高さの120%がテーブルトップ構成のレンズ中央の上側に配置されます。20% オフセットでは、画像の半分の幅(左または右)の20%がテーブルトップ構成のレンズ中央の右側または左側に配置されます。

垂直画像オフセット: 0% ~ +120%



水平画像オフセット: +/-20%



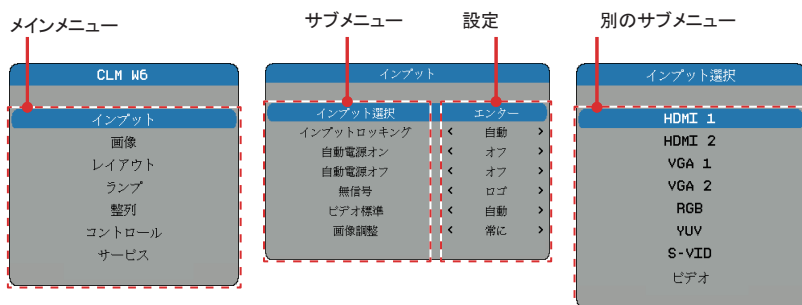
4. ユーザーコントロール

4.1 オンスクリーン・ディスプレイメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

4.1.1 OSD(オン・スクリーン・ディスプレイ)メニューの使用

1. リモコンのMENUボタンまたはプロジェクター後部のMENUボタンを押して、OSDメニューを開きます。
2. OSDが表示されたら、矢印キーを使ってメニューを自由にナビゲートして必要な項目を設定します。
3. 上/下矢印ボタンを使ってサブメニューで必要な項目を選択し、左/右矢印ボタンを使って設定を調整します。またはENTERを押して別のサブメニューへ移動します。
4. サブメニューで次に調整する項目を選択し、上記と同じ手順で設定を調整します。各項目が調整されると、新しい設定がプロジェクターによって保存されます。
5. 前のメニューに戻るには、MENUボタンを押します。
6. OSDメニューを終了するには、MENU ボタンを再度押します。



4.1.2 インプットメニュー

インプット			
インプット選択		エンター	
インプットロックキング	<	自動	>
自動電源オン	<	オフ	>
自動電源オフ	<	オフ	>
無信号	<	ロゴ	>
ビデオ標準	<	自動	>
画像調整	<	常に	>

インプット選択

アクティブなソースを選択します。次のオプションがあります。

- HDMI 1 • HDMI 2 • VGA 1 • VGA 2
- RGB • YUV • S-ビデオ • Video

インプットロックキング

画像入力信号の周波数を指定します。

- 自動: デフォルト値。入力をロックします。
- 50Hz: 画像周波数を50Hzに設定します。
- 60Hz: 画像周波数を60Hzに設定します。

自動電源オン

同期信号が検出されない場合、一定時間を経過するとスイッチが切れます。

- オフ: デフォルト値。自動電源オフ機能を無効にします。
- オン: 20分間信号が検出されないと、プロジェクターの電源が自動的に切れます。

自動電源オフ

プロジェクターの電源を接続してプロジェクターのスイッチを入れると、自動的にプロジェクターが起動します。

- オフ: デフォルト値。プロジェクターは電源が接続されても電源がオンになりません。プロジェクターの電源はユーザーがオンにします。
- オン: プロジェクターの電源を接続してプロジェクターのスイッチを入れると、自動的にプロジェクターが起動します。

4. ユーザーコントロール

無信号

信号が無いときに表示される画像を選択します。

- ロゴ: デフォルト値。メーカーのロゴ画面を検索して表示します。
- ブルー: 青色(RGB=0,0,255)画面を検索して表示します。
- ブラック: 黒色(RGB=0,0,0)画面を検索して表示します。
- ホワイト: 白色(RGB=255,255,255)画面を検索して表示します。
- スナップショット: この機能は[画面キャプチャ]と連携して利用します([コントロール]メニューで追加できます)。

ビデオ標準

カラーシステムを選択します。

注: ビデオ規格機能は、CVBSとS-Videoソースのみに対して使用できます。

- 自動: デフォルト値。自動的にビデオ規格を検出します。
- NTSC: NTSCビデオ規格。
- PAL: PALビデオ規格。

画像調整

自動画像メニューのモードを選択します。

- 常に: デフォルト値。前のソースと同じタイミングであっても、常に画像/自動画像の機能を実行します。
- オフ: 画像/自動画像の機能を実行しません。
- 自動: 前のソースと別のタイミングを取得したときに、画像/自動画像の機能を実行します。

4.1.3 画像メニュー

画像			
明るさ		127	
コントラスト	<	127	>
サチュレーション	<	127	>
色合い	<	127	>
シャープネス	<	0	>
ノイズ低減	<	0	>
色温度	<	ネイティブ	>
インプットバランス		エンター	
アスペクト比	<	ネイティブ	>
タイミング		エンター	
自動画像		実行	
ディスプレイモード	<	明るい	>
ホワイトピーキング	<	10	>

明るさ

画像の明るさを調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

画像のコントラストを調整します

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが上がります。

サチュレーション

画像のサチュレーションを調整します。

注: サチュレーション機能をサポートするソースは次の通り。S-Video、Composite、Sync on Green。

- ◀を押すと画像のサチュレーションが低くなります。
- ▶を押すと画像のサチュレーションが高くなります。

色合い

画像の色合い(赤と緑の間の色バランス)を調整します。

- ◀を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶を押すと画像の赤が強くなります。

4. ユーザーコントロール

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すとシャープネスが下がります。
- ▶を押すとシャープネスが強くなります。

ノイズ低減

画像に一時的にまたは部分的に表示されるノイズを低減します。

- ◀を押すとノイズが下がります。
- ▶を押すとノイズが強くなります。

色温度

画像の色温度を調整します。

- ネイティブ: デフォルト値。ネイティブはおよそ5500Kです。
- 3200K: およそ3200Kの色温度を適用します。
- 5400K: およそ5,400Kの色温度を適用します。
- 6500K: およそ6500Kの色温度を適用します。
- 8800K: およそ8800Kの色温度を適用します。

インプットバランス

画像の赤、緑、または青チャネルのゲインまたはオフセットを調整します。コントラストの調整に似ていますが、単一の色チャネルだけに影響します。

- オフセット: 投写された画像の暗い領域の色バランスの制御に関与します。
- ゲイン: 投写された画像の明るい領域の色バランスの制御に関与します。
- ◀を押すとインプットバランスが下がります。
- ▶を押すとインプットバランスが下がります。

アスペクト比

画像のアスペクト比を調整します。

- ネイティブ: ソースの本来のアスペクト比を維持したままスクリーンに合うように調整されます。高さまたは幅どちらかが先に決定します。
- 5:4: インプット画像は5:4のアスペクト比にリサイズされます。
- 4:3: インプット画像は4:3のアスペクト比にリサイズされます。
- 16:10: インプット画像は16:10のアスペクト比にリサイズされます。
- 16:9: インプット画像は16:9のアスペクト比にリサイズされます。
- 1.88: インプット画像は1.88:1のアスペクト比にリサイズされます。
- 2.35: インプット画像は2.35:1のアスペクト比にリサイズされます。
- アンスケールド: 1:1で中央に配置します(チップ解像度よりも解像度のほうが大きい場合、画像が切れた状態になります)。

スケール表:

ソース・モード	5:4		4:3		16:10		16:9		1.88		2.35		ネイティブ		アンスケールド	
	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ	キャンチ	リサイズ
コンポジット (720 x 240)	698 x 466		698 x 466		698 x 466		698 x 466		698 x 466		698 x 466		698 x 466	1200 x 800	698 x 466	
480i (720 x 240)	720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480	1200 x 800	720 x 480	
480p (720 x 480)	720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480		720 x 480	1200 x 800	720 x 480	
576i (720 x 288)	720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576	1000 x 800	720 x 576	
(PAL-BDGHIL & SECAM)	720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576		720 x 576	1000 x 800	720 x 576	
576p (720 x 576)	720 x 576	1000 x 800 中央	720 x 576	1000 x 800 中央	720 x 576	1280 x 800	720 x 576	1280 x 720 中央	720 x 576	1280 x 680 中央	720 x 576	1280 x 544 中央	720 x 576	1000 x 800	720 x 576	1:1で中央 に配置
720p (1280 x 720)	1280 x 720		1280 x 720		1280 x 720		1280 x 720		1280 x 720		1280 x 720		1280 x 720	1280 x 720	1280 x 720	
1080i/P (1920 x 1080)	1920 x 1080		1920 x 1080		1920 x 1080		1920 x 1080		1920 x 1080		1920 x 1080		1920 x 1080	1280 x 720	1920 x 1080	
PC入力 (VESA) 4:3	入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		PC入力 (VESA) 4:3	1066 x 800	PC入力 (VESA) 4:3	
PC入力 (VESA) 16:9	入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		PC入力 (VESA) 16:9	1280 x 720	PC入力 (VESA) 16:9	
PC入力 (VESA) 16:10	入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		入力解像度		PC入力 (VESA) 16:10	1280 x 800	PC入力 (VESA) 16:10	

タイミング

画像全体の幅、ポジション、フェーズ、または垂直位置を調整します。

注: タイミング機能をサポートするソースは次の通り。アナログコンピュータ、アナログコンポーネント。

- ◀を押すと、Hトータル、ポジション、フェーズ、またはVポジションが下がります。
- ▶を押すと、Hトータル、ポジション、フェーズ、またはVポジションが高くなります。

画像のフィルムモード、ブラックレベル、またはカラースペースを調整します。

- フィルムモード: デインターレースを有効または無効にします。
- Black Level NTSC: NTSCのブラックレベルを設定します。
- フォーマット: ソースのカラースペースフォーマットを選択します。入力ソースによって異なります。
- YUV 同期: シンク・オン・グリーン (SOG)信号の同期しきい値を調整します。アクティブなビデオではなく、負のパルスを同期するための電圧を制御します。この設定は、アクティブなビデオソースが 緑/ルマ チャネルで同期を行う際に必要です。

自動画像

自動画像調整を実行します。

- 画像サイズ、フェーズ、タイミングを自動的に調整するときは、[実行]を選択します。
- プロジェクターがインプットシグナルを再取得しロックするように強制します。信号クオリティがあまりよくない場合に便利な機能です。このコマンドを実行すると、プロジェクターは検索状態に入ります。信号を再取得すると、画像設定 (Hスタート、Hトータル、Hフェーズ、Vスタート) が入力信号に合わせて最適化されます。

4. ユーザーコントロール

ディスプレイモード

画像のシーケンスと波形を変更します。

- 明るい: デフォルト値。最大ルーメン出力で表示します。
- ソース情報: プレゼンテーションやコンピュータグラフィックに最適の画像を表示します。
- ビデオ: ビデオソース(DVD, TVなど)に最適の画像を表示します。

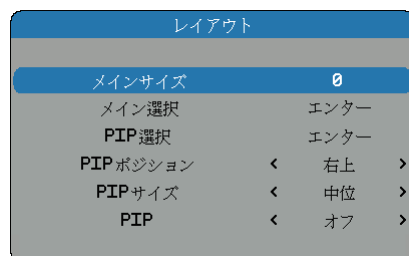
ホワイトピーキング

画像の白のレベルを追加的に変更します。

注: ホワイトピーキング機能の対応機種はCLM-W6のみです。

- ◀を押すとホワイトピーキングが下がります。
- ▶を押すとホワイトピーキングが高くなります。

4.1.4 レイアウトメニュー

メインサイズ

メイン画面のサイズを設定します。

この機能は、ズームアウト/クロッピング画像です。画像の位置は中央を維持します。

- ◀を押すとメインサイズが小さくなります。
- ▶を押すとメインサイズが大きくなります。

メイン選択

メイン画面のソースを設定します。

- HDMI 1
- HDMI 2
- VGA 1
- VGA 2
- RGB
- YUV
- S-ビデオ
- Video

PIP選択

PIP画面のソースを設定します。この機能は、PIP機能がオフのとき灰色で表示されます。

- HDMI 1
- HDMI 2
- VGA 1
- VGA 2
- RGB
- YUV
- S-ビデオ
- Video

PIPポジション

PIP画面の位置を設定します。

- 右上: この機能のデフォルト設定です。
- 左上
- 左下
- 右下

4. ユーザーコントロール

PIPサイズ

PIP画面のサイズを設定します。

PIPサイズはインプット解像度ごとに別のサイズを設定できます。

- スモール: PIP画面のサイズは、画面全体の約1/6くらいになります。
- 中位: PIP画面のサイズは、画面全体の約1/5くらいになります。
- ラージ: PIP画面のサイズは、画面全体の幅の約1/4くらいになります。

PIP

PIP画面機能を有効にします。

- オフ: デフォルト値。PIP機能が無効になり、メイン画面だけが表示されます。
- オン: PIP画面がメイン画面上に重ねて表示されます。

4.1.5 ランプメニュー

ランプ		
モード		ノーマル
ランプ	<	デュアル >
高度	<	オフ >
電源	<	100% >
自動ランプスイッチ	<	オン >
ランプ 1 状態		オン
ランプ 2 状態		オン
ランプ 1 ランタイム		2000
ランプ 2 ランタイム		2000

モード

プロジェクターのランプモードを設定します。

- ノーマル: デフォルト値。ノーマルモードでは、ランプのワット数を330Wに設定します。
- ECO: ECOモードでは、ランプのワット数を280Wに設定します。
- 電源: ランプ電力調整を有効にします。

ランプ

プロジェクターのランプモードを信号/デュアルで選択します。

- デュアル: この機能のデフォルト設定です。
- 信号: プロジェクターが自動的にランプ1とランプ2の使用時間を確認し、短い使用時間のランプを選択して点灯します。

高度

高海拔モードをオンまたはオフにします。

- オフ: デフォルト値。
- オン: 高海拔モードをオンにします。

電源

プロジェクターのランプの電力レベルを設定します。

注: 電力調整機能は、ランプの設定をECOモードまたはノーマルモードに設定した場合、利用できません。

- ◀を押すと電力レベルが下がります。
- ▶を押すと電力レベルが上がります。

4. ユーザーコントロール

自動ランプスイッチ

プロジェクターのランプの切り替えを自動的に行います。

注: [自動ランプスイッチ]機能は、[ランプ]モードで[信号]を選んでいる場合にのみ利用できます。

- オン: デフォルト値。起動時から50時間ごとにランプを切り替えます (ランプが故障した場合も切り替わります)。
- オフ: 起動時のみに切り替えます (ランプが故障した場合も切り替わります)。

ランプ 1 状態

ランプ1の状態をオン/オフで表示します。

ランプ 2 状態

ランプ2の状態をオン/オフで表示します。

ランプ 1 ランタイム

現在のランプのランタイムを表示します。

ランプ 2 ランタイム

現在のランプのランタイムを表示します。

4.1.6 整列メニュー

整列		
リアプロジェクト	オフ	
シーリングモード	<	オフ >
レンズコントロール		エンター
ゆがみ		エンター
自動台形ひずみ補正	<	オン >
ガンマ	<	2.2 >
内部パターン		エンター
カラースペース	<	ネイティブ >
カスタムカラースペース		エンター
レンズを中央位置に		実行

リアプロジェクト

画像を水平反転します。プロジェクターをスクリーンの後方に配置した場合に使用します。

- ・ オフ: デフォルト値。スクリーンの前方にプロジェクターを設置した場合の設定です。
- ・ オン: プロジェクターのリアプロジェクト機能を有効にします。

シーリングモード

画像を垂直反転します。プロジェクターを天吊り状態で利用するときに使用します。

- ・ オフ: デフォルト値。プロジェクターはテーブルモードです。
- ・ オン: プロジェクターはシーリングモードです。

レンズコントロール

- ・ ズーム: レンズがズームします。
- ・ フォーカス: レンズがフォーカスします。
- ・ レンズシフトへは<Enter> Enterを押すごとに、ズーム/フォーカスとシフトの間で切り替えます。
- ・ 左/右: レンズを左/右にシフトします
- ・ 上/下: レンズを上/下にシフトします
- ・ ズーム/フォーカスへは<Enter> Enterを押すごとに、ズーム/フォーカスとシフトの間で切り替えます。

ゆがみ

- ・ 台形ひずみ補正: 水平/垂直キーストーンを調整します。
- ・ ピンクッション補正: 水平/垂直ピンクッションを調整します。

4. ユーザーコントロール

自動台形ひずみ補正

プロジェクターの傾きを自動的に検出して、キーストーンを補正します。

- オン: デフォルト値。自動台形ひずみ補正を有効にします。
- オフ: キーストーンは手動で調整します。

ガンマ

ガンマ値を設定します。

- ◀を押すとガンマ値が下がります。
- ▶を押すとガンマ値が上がります。

内部パターン

プロジェクターは、較正を行うためにいくつかの画像パターンを内蔵しています。

- オフ • レッド • グリーン • ブルー
- ホワイト • ブラック • イエロー • マジェンタ
- シアン • ハッチ • チェックボード
- ランプ白黒 • ランプレッド • ランプグリーン • ランプブルー

カラースペース

カラースペースを設定します。

- ネイティブ: デフォルト値。プロジェクターにネイティブ色域を適用する際に選択します。
- カスタム: OSDまたはプロジェクターツールセットアプリケーションを通じ、好みに応じて色域をカスタマイズするときに選択します。

カスタムカラースペース

原色と白のX値とY値を調整します。

- ホワイトX • ホワイトY • 赤X • 赤Y
- 緑X • 緑Y • 青X • 青Y
- ◀を押すとカスタムカラースペースの値が下がります。
- ▶を押すとカスタムカラースペースの値が上がります。

レンズを中央位置に

レンズを中央/軸上位置に設定します。

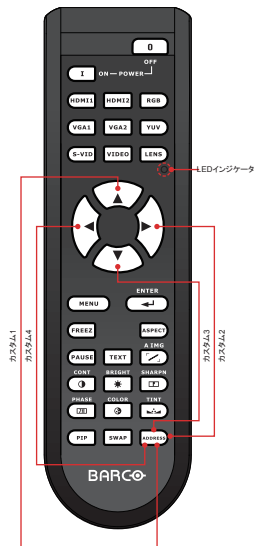
4.1.7 コントロールメニュー

コントロール		
IRアドレス	カスタム 1	
10ネットワークパワー	<	オフ >
RS232 ボーレート	<	115200 >
ネットワーク	<	エンター >
メニュー位置	<	中央 >
スタートアップロゴ	<	オン >
画面キャプチャ	<	エンター >
自動ソース	<	オン >
言語	<	エンター >

IRアドレス

リモコンのIRアドレスを設定します。リモコンのアドレスはADDRESSボタンと矢印ボタンを同時に押して変更し、IRアドレスを1/2/3/4から選択します。リモコンのLEDインジケータが2回点滅して、新しいリモコンアドレスを確定します。

- カスタム1:
 - ADDRESSボタンと上ボタンを同時押してIRアドレス1を設定します。
 - リモコンのLEDインジケータが2回点滅して、新しいリモコンアドレスを確定します。
- カスタム2:
 - ADDRESSボタンと右ボタンを同時押してIRアドレス2を設定します。
 - リモコンのLEDインジケータが2回点滅して、新しいリモコンアドレスを確定します。
- カスタム3:
 - ADDRESSボタンと下ボタンを同時押してIRアドレス3を設定します。
 - リモコンのLEDインジケータが2回点滅して、新しいリモコンアドレスを確定します。
- カスタム4:
 - ADDRESSボタンと左ボタンを同時押してIRアドレス4を設定します。
 - リモコンのLEDインジケータが2回点滅して、新しいリモコンアドレスを確定します。



4. ユーザーコントロール

エコネットワークパワー

節電のためにネットワーク電源のオン/オフを切り替えます。

- オフ: デフォルト値。ネットワークはスタンバイモードです。
- オン: ネットワークはスタンバイモードではありません。

RS232ボーレート

RS232ボーレート

- 115200: この機能のデフォルト設定です。
- 9600/19200: その他のオプション。

ネットワーク

関連のネットワーク情報を表示します。

- IPアドレス: デフォルト値は192.168.0.100です。
- サブネットマスク: デフォルト値は255.255.255.0です。
- ゲートウェイ
- DHCP: デフォルト値はオフです。手動で入力するIPアドレスをクリックし、キーを押します適用されます。
- 適用:
 - DHCPが“オン”と押して設定“適用”自動的にDHCPサーバーからIPアドレスを取得します。
 - これはIPアドレスを取得に数秒かかります。
 - 防止は失敗、再再び適用してくださいIPアドレスを取得します。

メニュー位置

メニューボックスの表示位置を変更します。

- 中央: この機能のデフォルト設定です。
- 左上
- 右上
- 左下
- 右下

スタートアップロゴ

起動時にロゴ画面を表示します。

- オン: プロジェクターの起動時にロゴ画面を表示します。
- オフ: ブランクページを表示します。

画面キャプチャ

現在の画像をキャプチャして、画像検索中の画面として使用します。メモリ内に、プロジェクターの現在の画像として保存します。プロジェクターは既存の画像を上書きするかの確認画面を表示します。

- 画面キャプチャは約2分を要します。
- 推奨インプット解像度は、CLM W6の場合が1280 x 800で、CLM HD6の場合が1920 x 1080です。
- デインターレース付きの信号は使用しないでください。
- スクリーンキャプチャを行っている途中で電源を切らないでください。

注: 写真やロゴを使用することをお勧め画面キャプチャ画像。我々は、ピクセルデータを使用することをお勧めしません。圧縮後、一部のデータは多分失った。

自動ソース

ソース検索を自動で行います。

- オン: デフォルト値。自動ソース検索が有効です。
- オフ: 自動ソース検索は無効です。

言語

OSDメニューとして表示する言語を選択します。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- スペイン語
- ポルトガル語
- 繁体字中国語
- 簡体字中国語
- 日本語
- 韓国語

4. ユーザーコントロール

4.1.8 サービスメニュー

サービス	
モデル	CLM W6
シリアルナンバー	9387016001
ソフトウェアバージョン	V1.04
メイン/PIPソース	HDMI 1/RGB
アクティブ分解能	1280x800
ピクセルクロック	71.0M
垂直リフレッシュ	60
水平リフレッシュ	49.3k
同期タイプ	セパレート
カラースペース	RGB
ランプ 1 ランタイム	122h
ランプ 2 ランタイム	123h
ランプ時間リセット	エンター
プロジェクトラタイム	1257h
ブルーのみ	< オフ >
工場出荷状態にリセット	実行

モデル

プロジェクターのモデル番号を示します。

シリアルナンバー

プロジェクターのシリアル番号を示します。

ソフトウェアバージョン

プロジェクターにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。

メイン/PIPソース

現在のメインソースとPIPソースを表示します。

アクティブ分解能

現在のソースの解像度を表示します。

ピクセルクロック

現在の入力信号のピクセルクロックを表示します。

垂直リフレッシュ

現在のソースの垂直リフレッシュレートを表示します。

水平リフレッシュ

現在のソースの水平リフレッシュレートを表示します。

同期タイプ

以下のいずれかの値です。

- セパレート: 独立した水平同期と垂直同期があります。
- シンクオングリーン シンクオングリーンチャンネル。
- コンポジット: 同期信号はビデオ信号内に組み込まれています。

カラスペース

現在のカラスペースを表示します。

ランプ 1 ランタイム

現在のランプのランタイムを表示します。

ランプ 2 ランタイム

現在のランプのランタイムを表示します。

ランプ時間リセット

ランプ1とランプ2の使用時間を0にリセットします。

プロジェクターランタイム

プロジェクターの総運転時間を表示します。

ブルーのみ

赤と緑を非表示にします。

このオプションは、サービス担当者が画像検査を行う際に使用し、プロジェクターは青色だけを表示します。

- オン: プロジェクターは常に青色だけを表示します。
- オフ: デフォルト値。

工場出荷状態にリセット

現在のすべての設定をデフォルト値に戻します。

この機能は、無信号、ネットワーク、スタートアップロゴ、画面キャプチャ、言語、ランプ時間、プロジェクター時間の項目には適用されません。

5. 付録

5.1 故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

5.1.1 画像の問題

- スクリーンに何も画像が表示されない
 - すべてのケーブルと電源が、「本体の設置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - コネクタのピンがすべて揃い、正常な状態かどうかを確認してください。
 - プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。
 - レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
- 注:** このプロジェクターは解像度1920*1200を表示できませんが、1920*1200 RBは表示可能です。
- 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない
 - コントロールパネルのAUTOボタンまたはリモコンのA IMGボタンを押してください。
 - コンピュータを使用している場合 (Windows 95、98、2000、Windows 7の場合):
 - ▶ [マイ コンピュータ] アイコンから[コントロール パネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
 - ▶ [設定] タブを選択します。
 - ▶ 画面の解像度設定がWUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。
 - ▶ [詳細設定] ボタンをクリックします。それでもプロジェクタから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレイを変更する必要があります。次のステップを参照してください。
 - ▶ 画面の解像度設定が WUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。
 - ▶ [Monitor (モニタ)] タブの[Change (変更)] ボタンを選択します。
 - ▶ [すべてのデバイスを表示] をクリックします。次に、SPボックスで[標準モニタの種類] を選択し、[モデル] ボックスで必要な解像度モードを選択します。
 - ▶ モニタディスプレイの解像度設定が WUXGA (1920 × 1200)以下であることを確認します。

- ノートパソコン使用时：
 - ▶ まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
 - ▶ 以下に示すノートパソコン各メーカー向けのショートカットキー組み合わせから該当するものを使用して、ノートパソコンからプロジェクターに信号を送ります。例：[Fn]+[F4]

Acer ⇨	[Fn]+[F5]	IBM/Lenovo ⇨	[Fn]+[F7]
Asus ⇨	[Fn]+[F8]	HP/Compaq ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル:

システム設定 ⇨ ディスプレー ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレイ

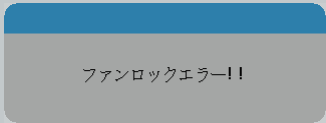
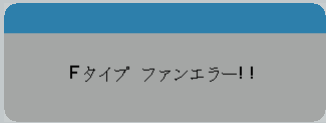
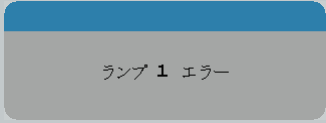
- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。
- プロジェクターの推奨解像度はネイティブ解像度です。すなわち、W6 1280 x 800 とHD6 1920 x 1080です。
- ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない
 - ノートパソコンを使用している場合
ノートパソコンの機種によっては、第2ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。本体画面を有効に戻す方法は機種によって異なります。詳細については、ご使用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- 画像が乱れる、またはちらつく
 - [タイミング/Hフェーズ] を使って修正してください。
 - コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。
- 映像に縦の縞模様が出る
 - [自動画像] を使って調整してください。
 - グラフィックカードのディスプレイモードがプロジェクターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

- 画像のピントが合っていない
 - レンズのドアが開いていることを確認してください。
 - レンズフォーカスが合うように調整してください。
 - スクリーンが適切な距離に置かれていることを確認してください。
- 16:9 DVD を再生表示しているとき、映像が伸びる
 - アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、OSDでプロジェクターのディスプレイモードを16:9に設定すると、プロジェクターは最高の画面を表示します。
 - 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDでフォーマットを4:3に変更してください。
 - それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
 - お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレイフォーマットをセットアップしてください。
- 画像が小さすぎるまたは大きすぎる
 - レンズズームを調整してください。適切に大きさを調節できないときは、レンズを直すか、プロジェクターの位置を変えてください。
- 画像の両側が斜めになる
 - プロジェクターの位置がスクリーンに対して直角の角度になるように配置してください。
- ランプが消える、またはランプから破裂音がする
 - ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。

5.2 LEDインジケータ表

LEDの名称	Power		Lamp 1 Error	Lamp 2 Error	Temp	Error
LEDの色 (青/緑/赤)	青	緑	赤	赤	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード接続済 & スイッチオン)	オン	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
電源オフ(冷却中)/ 電源オン(ウォーミング)	オフ	点滅	オフ	オフ	オフ	オフ
通常運転	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	オフ
温度センサエラー	オフ	オン	オフ	オフ	オン	点滅
ファンロックエラー	オフ	オン	オフ	オフ	オフ	点滅
ランプ点灯失敗(両方)	オフ	点滅	オン	オン	オフ	オフ
ランプ点灯失敗(ランプ1)	オフ	点滅	オン	オフ	オフ	オフ
ランプ点灯失敗(ランプ2)	オフ	点滅	オフ	オン	オフ	オフ
ランプ1エラー(ランプ、バラスト)	オフ	オン	点滅	オフ	オフ	点滅
ランプ2エラー(ランプ、バラスト)	オフ	オン	オフ	点滅	オフ	点滅
システムエラー	オフ	オン	点滅	点滅	オフ	点滅
ダウンロードモード	オフ	オフ	オン	オン	オン	オン

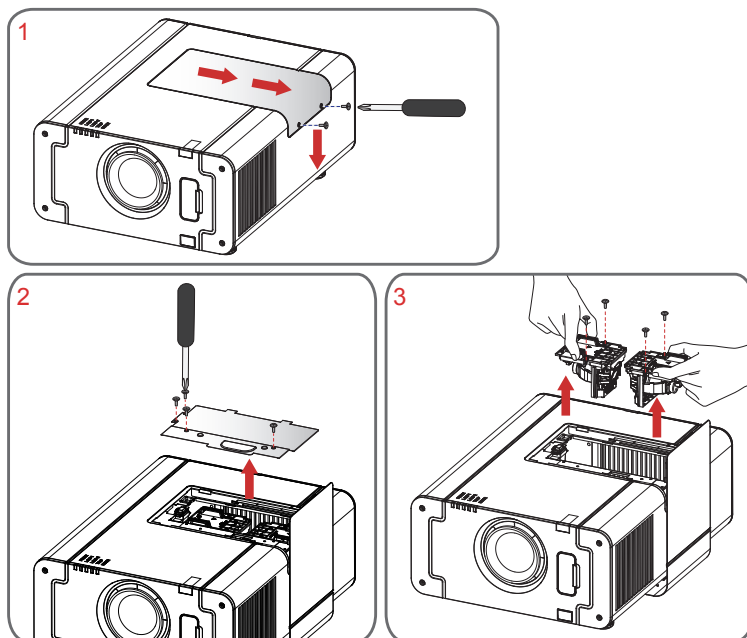
5.3 警告メッセージ

メッセージ	説明
 ファンロックエラー!!	ファンロックエラー: ファンが作動しない、または動作に異常があることを示しています。
 Fタイプ ファンエラー!!	Fタイプファンエラー: ファンの速度が異常であることを示しています。
 ランプ 1 エラー	ランプ1エラー/ランプ2エラー: ランプが機能しないことを示しています。
 ランプ 1 点灯失敗	ランプ1/ランプ2 点灯失敗: ランプが点灯しないことを示しています。
 過熱	過熱: 本体の温度が運転温度を上回っていることを示しています。

注: あなたはこれらの警告メッセージを受信した場合、サービスにお問い合わせください

5.4 ランプの交換

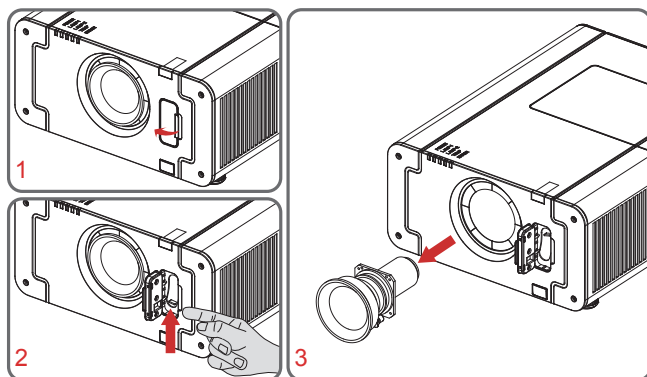
プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプ寿命に近づくと、警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。



手順:

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. ランプが十分冷却されるまで約 30 分間お待ちください。
3. ランプドアにある2個のネジをゆるめます。1
4. ランプドアをプロジェクターの底面方向にスライドします。
5. ランプカバーにある4個のネジをゆるめます。2
6. ランプハンドルを持ち上げて、ランプモジュールをゆっくり、丁寧に取り出します。3
7. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクターの電源を入れ「ランプ時間リセット」機能を使用します。

5.5 レンズの交換



手順:

1. プロジェクターのスイッチを切って、電源コードを抜いてください。
2. レンズ交換を始める前に、プロジェクターの温度が下がるまで最低でも1分はお待ちください。
3. レンズドアを開きます。1
4. リリースレバーを上押し上げて、ロックを解除します。2
5. プロジェクターの前からレンズを外します。3
6. レンズモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
7. 取り付ける前に、レンズキャップを外しておきます。外し忘れると、プロジェクターを破損するおそれがあります。

注: 挿入する前に、レンズからプロジェクターにすべてのプラスチックキャップを削除します。

5.6 互換モード

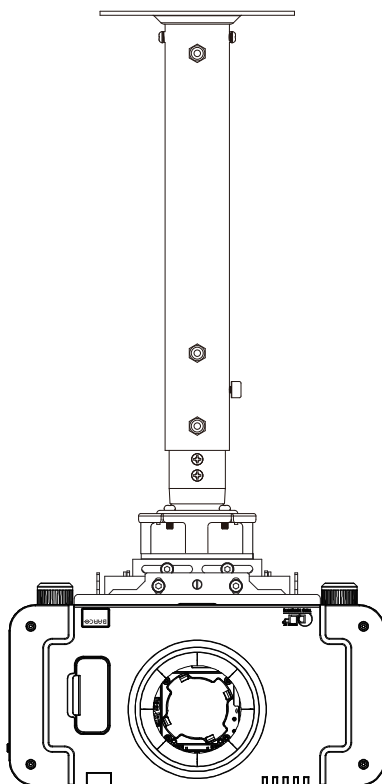
信号のタイプ	解像度	フレーム レート (Hz)	HDMI 1	HDMI 2	VGA 1	VGA 2	BNC	コンポーネント	S- video	CVBS
PC	640x480	59.94	X	X	X	X	X			
	640x480	74.99	X	X	X	X	X			
	640x480	85	X	X	X	X	X			
	800x600	60.32	X	X	X	X	X			
	800x600	75	X	X	X	X	X			
	800x600	85.06	X	X	X	X	X			
	848x480	59.94			X	X	X			
	1024x768	60	X	X	X	X	X			
	1024x768	75.03	X	X	X	X	X			
	1024x768	85.03	X	X	X	X	X			
	1280x800	50	X	X	X	X	X			
	1280x800	60	X	X	X	X	X			
	1280x1024	60.02	X	X	X	X	X			
	1280x1024	75.02	X	X	X	X	X			
	1280x1024	85.02	X	X	X	X	X			
	1400x1050	60	X	X	X	X	X			
	1600x1200	60	X	X	X	X	X			
	1680x1050	59.94			X	X	X			
Apple Mac	640x480	66.59			X	X	X			
	832x624	74.54	X	X	X	X	X			
NTSC	NTSC (M, 4.43)	59.94						X	X	X
PAL	PAL (B,G,H,I)	50						X	X	X
	PAL (N)	50						X	X	X
	PAL (M)	59.94						X	X	X
SECAM	SECAM (M)	50						X	X	X
SDTV	1440x480i	60	X	X						
	1440x576i	50	X	X						
	480i	59.94	X	X	X	X	X			
	576i	50	X	X	X	X	X			
EDTV	480p	59.94	X	X	X	X	X			
	576p	50	X	X	X	X	X			
HDTV	1920x1200RB	60	X	X	X	X	X			
	1920x1200RB	50	X	X	X	X	X			
	1080i	50	X	X	X	X	X	X		
	1080i (Aus)	50	X	X	X	X	X	X		
	1080i	59.94	X	X	X	X	X	X		
	1080i	60	X	X	X	X	X	X		
	720p	50	X	X	X	X	X	X		
	720p	59.94	X	X	X	X	X	X		
	720p	60	X	X	X	X	X	X		
	1080p	23.98	X	X	X	X	X	X		
	1080p	24	X	X	X	X	X	X		
	1080p	25	X	X	X	X	X	X		
	1080p	29.97	X	X	X	X	X	X		
	1080p	30	X	X	X	X	X	X		
	1080p	50	X	X	X	X	X	X		
	1080p	59.94	X	X	X	X	X	X		
	1080p	60	X	X	X	X	X	X		

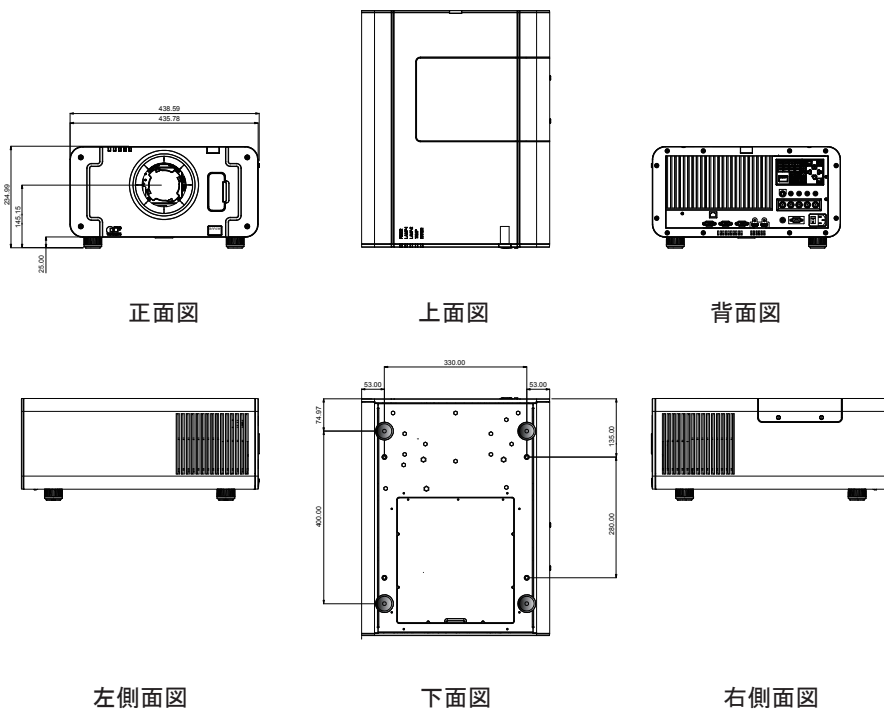
注: 1440 x 480iと1440 x 576iはHDMIデータ形式のみをサポートします(AVI付きデータストリーム)。

5.7 天井への取り付け

- プロジェクターの破損を防ぐため、BARCO天吊りキットをお使いください。
 - 天吊りキットの部品番号:
 - ▶ R9849999 シーリングマウント、R9801030 CLM HD6/ W6 シーリングマウントアダプタ
 - ▶ R9841261ロングエクステンションシーリングマウントバー(オプション)
 - ▶ R9841260ショートエクステンションシーリングマウントバー(オプション)

注: 不適切な設置による破損や故障については保証いたしかねますのでご了承ください。



**警告:**

- 他社製の天吊りキットをお買い求めの場合、正しいネジサイズをお使いいただくようご注意ください。ネジのサイズは、取り付けプレートの厚みによって変化します。
- 天井とプロジェクター底面と間に、少なくとも10センチの距離を置いてください。
- プロジェクターは、熱を発生する装置の近くに配置しないでください。

5.8 欧州連合諸国の場合の準拠声明

- EMC指令 2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE 指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)



廃棄に関する指示

この電子デバイスを廃棄する時はゴミ箱に捨てないで下さい。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、この製品をリサイクルしてください。